

境港カーボンニュートラルポータル形成協議会（第2回）開催概要

- 境港において脱炭素社会を実現するため、今年度から港湾関係者が参画する協議会を設置し、CNP形成計画を策定することとしている。
- 境港CNP形成計画で示すロードマップに沿った取り組みにより、2050年カーボンニュートラルの実現に貢献するため、令和5年度では、荷主・運送業者を対象とした啓発セミナーを開催、海上輸送へのモーダルシフトによる転換を促進、CO₂排出量を削減、カーボンニュートラル実現に向けた取組を促す。

■開催概要■

- 1 日 時： 令和5年2月27日（月） 15：00～16：45
- 2 場 所： みなとテラス 大会議室
- 3 構 成 員： 別紙1 構成員 参照
- 4 議 事： 別紙2 議事次第 参照
- 5 議事概要

- 事務局から港湾法の改正について説明、港湾法の改正に基づき次回協議会より名称を境港脱炭素化推進協議会に変更し、引き続き協議会を進めていくことを確認した。
- 計画策定にあたり、本計画の対象範囲、削減目標の設定方法について協議を行った。
- 協議会に参加した構成員、オブザーバーとの意見交換を行った。

【主な意見】

- ・分科会を設置し、計画段階、実行段階、2050年に向かっていく段階等、それぞれの時間軸も踏まえて、省エネ・創エネ・オフセットについて深掘りしていくことが望ましい。
- ・フォアキャスト（現在を起点として未来を予測する方法）によりCO₂排出削減目標値を設定しているが、バックキャストにより将来の絵姿から現在へ遡って実現可能性に向けた取り組みを設定する必要がある。
- ・CO₂排出削減計画を立てるためには、「個々（港湾管理者や立地企業）の取組」と「境港エリアとしての取り組み」の2つの観点が必要。
- ・水素・アンモニアに興味がある企業に対して、将来、港湾の中でこういうものがあれば、水素・アンモニアに置き換えることができるという消費側の動向を押さえる必要がある。



(別紙1)

境港カーボンニュートラルポータル形成協議会 構成員

(敬称略、順不同)

役 割	区 分	企業名等
構 成 員	有 識 者	公立鳥取環境大学
構 成 員	関 係 企 業	NX境港海陸株式会社
構 成 員	関 係 企 業	株式会社上組
構 成 員	関 係 企 業	三光株式会社
構 成 員	関 係 企 業	株式会社日新
構 成 員	関 係 企 業	合同会社 境港エネルギーパワー
構 成 員	関 係 企 業	東西オイルターミナル株式会社
構 成 員	関 係 企 業	隠岐汽船株式会社
構 成 員	関 係 団 体	境港商工会議所
構 成 員	関 係 団 体	松江商工会議所
構 成 員	関 係 団 体	まつえ北商工会
構 成 員	関 係 行 政 機 関	国土交通省 中国地方整備局 境港湾・空港整備事務所
構 成 員	関 係 行 政 機 関	境港市
構 成 員	関 係 行 政 機 関	松江市
オ ブ ザ ー バ ー	民 間 企 業	ローカルエナジー株式会社
オ ブ ザ ー バ ー	国	環境省 中国四国地方環境事務所
オ ブ ザ ー バ ー	国	国土交通省 中国運輸局
オ ブ ザ ー バ ー	地 方 公 共 団 体	鳥取県
オ ブ ザ ー バ ー	地 方 公 共 団 体	島根県
事 務 局	港 湾 管 理 者	境港管理組合

境港カーボンニュートラルポータル形成協議会（第2回）

日時：令和5年2月27日（月）15時00分～
場所：みなとテラス 大会議室
（鳥取県境港市上道町3000）

議 事 次 第

1 開 会

2 挨拶

- 3 議 事
- 1) 第1回協議会における意見とその対応について（資料1）
 - 2) 港湾法の改正について（資料2-1）
 - 3) 境港脱炭素化推進協議会設置要綱について（資料2-2）
 - 4) 計画策定にあたっての基本条件について（資料3）
 - 5) 今後の進め方について（資料3）
 - 6) 意見交換

4 その他

5 閉 会